



新潟市立小須戸中学校

学校だより

教育目標

知性 創造
自主 協同

生徒数

1学年66名
2学年75名
3学年77名
合計 218名

令和4年

9月30日発行

【体育祭】

雨天により、2日間に分けて催された令和4年度の体育祭でした。例年がないスタイルでしたが、生徒は皆、チームのため全力を尽くしました。

【ノリと真面目の境界線】

赤軍軍団長

3年1組

高山 心大

今年の体育祭では、準備期間から本番まで常に焦っていたことを思い出します。雨が降ってグラウンドで練習ができなかったり、多くの人が熱中症になったりもしました。私もその1人でした。そんな中、軍を支えてくれたのは軍のみんなや先生方でした。軍全体で支え合いながら戦い抜きました。真面目に素直に、ノリと勢いで走り抜けた赤軍でした。愛勝。

【最後の体育祭】

赤軍競技指示長

3年1組

和田 あすか

今年の体育祭では、私たち3年生にとって最後の体育祭でした。準備期間では、昼休みや夏休みの時間を使い、係の人たちと協力して、勝つための走順や作戦を立てました。リレーや学年種目を練習した回数は少なかったけれど、本番ではミス無くバトンをつなぐことができ、競技賞を取ることができました。競技賞を取ることが目標だったので、嬉しかったです。

【グッズに込めた想い】

赤軍グッズ長

3年1組

浅見 莉音



夏休み前から準備をされていて、今回私たちはメガホンという今までに無いグッズに挑戦しました。何もわからない私たちは、1から考え、様々な工夫をしました。グッズ係は3人と、人数の少ない中、みんなで協力して頑張りました。グッズ賞はないけど、私たちグッズ係の中では今までのグッズで最高のものができたと思います。

【仲間との協力】

赤軍パネル長

3年1組

古川 凜

私達のパネルは本当に最高の出来だったと思います。私は1年生の頃からパネル長に憧れていました。しかし自分の理想通りに行かず悩むことが多くありました。そんなとき、パネル係の皆や先生方、クラスの友達など、たくさんの人が助言をしてくれたおかげで、壮大で美しいフェニックスを描き上げることができました。赤軍でパネルを作り上げられて本当に良かったです！



☆体育祭の写真、新人戦の結果はホームページをご覧ください。

【修学旅行】



9月20日（火）～21日（水）、3年生が修学旅行へ行ってきました。当初の予定を変更して、新潟県内の修学旅行となりました。

1日目、藤次郎商店、パール金属、長岡花火館等を回り、キューピットバレイログコテージで宿泊、2日目、ウォークラリーを行い、上越市立水族博物館うみがたりを見学しました。先方の都合で今回実施できなかった燕市産業資料館の見学実習は日程調整を行い、後日実施予定です。



【想像以上の思い出】

青軍軍団長 3年2組 高山 輝

今年の体育祭は、二日間という異例の体育祭でしたね。1日目は雨に打たれ、2日目は走って、走って、走りまわると今までにない体育祭になりました。練習から暑い日が続いていましたが、当日は熱い気持ちをもって臨むことができました。

全校のみなさん、先生方、ありがとうございました。みんなの笑顔は満点です！！

【最後の体育祭】

青軍競技指示長 3年2組 五十嵐 綾陽

はじめての競技長で最初は何をすればいいかわからなかったけど、同じ軍の応援団や森田先生、何より競技系の2人に支えてもらって当日を迎えることができました。競技賞を取ることはできなかったけど、思い出に残る体育祭にできてよかったです。

【最後の体育祭】

青軍グッズ長 3年2組 高山 美月



今年の体育祭は、準備などで忙しかったけど、思い出に残る最高の体育祭になりました。私は夏休み前の準備期間に部活があったので、同じグッズ係の人に迷惑をかけたけど、最後まで3人でやりきることができました。自分たちの中では思い出に残るような、とてもよいグッズができたと思います。最後の体育祭でグッズ長になってよかったです。お疲れ様でした！

【新しいデザイン】

青軍パネル長 3年2組 廣瀬 結香

どのようなパネルにしようか考えたとき、今までにない新しいデザインにすることで、パネルを見る人の目を引きつけることができると思いました。その思いからロゴマーク風のパネルが完成しました。そして、パネル賞を取ることができ、とてもうれしいです。一緒に制作してくれたパネル係、様々な場面でお世話になった神保先生、本当にありがとうございました。



【体育祭の中心の体育科であり、
3学年担任のお二人】



【小須戸の宝人】

～1年生～総合的な学習の時間

小須戸地域で活躍されている方のお話を伺いました。



【職場体験】

～2年生～総合的な学習の時間

少人数に分かれて、様々な職業について学んできました。



1年生の「小須戸の宝人」も、2年生の「職場体験」も、どちらも真剣な態度で臨んでいました。どの学習でも共通して、挨拶をきちんと行い、真剣に話を聞く学びができていました。これらの活動から、今後の自分たちに『何が』できるかを考え、次の発信につながっていくと考えられます。受け入れてくださった事業所の皆様に感謝いたします。

先日行われた、新潟市中学校新人大会の結果は、ホームページに掲載いたします。